

そうか 市議会報

No.204

平成24年11月発行
編集 議会運営委員会
発行 草加市議会
草加市高砂1-1-1
☎048(922)2489 議事課直通
☎048(922)3154 議事課直通
http://www.soka-shigikai.jp

年4回 毎定例会後発行

おもな内容

新しい議会人事……………1ページ
市長提出議案の概要……………1～2ページ
臨時会の開催……………2ページ
議員提出議案の概要……………3ページ
委員会提出議案の概要……………3ページ
市政に対する一般質問……………4～5ページ
決算特別委員会の審査概要……………6ページ
特別会計・企業会計決算の審査概要……………7ページ
審議結果一覧……………8ページ



9月定例会

草加市暴力団排除条例の制定など市長提出35議案と 委員会提出1議案、議員提出5議案を可決

平成24年9月定例会は、8月30日から9月20日までの22日間にわたって開かれ、市長から提出された35議案を原案どおり認定・可決・同意しました。委員会提出議案は、建設従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を求める意見書が提出され、可決しました。議員提出議案は、地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書など6議案が提出され、5議案を可決しました。市長提出議案に対する質疑では、7人の議員が質疑を行い、市政に対する一般質問では、13人の議員が3日間にわたって、諸施策について執行部の方針や見解をそれぞれたずねました。

契約

ここに掲載したものは、市長提出議案について、提案理由をもとに要約したものです。

**(仮称)草加市立
谷塚西文化センター
建設工事(建築工事)
請負契約の締結**
生涯学習施設を整備することにより、市民の学習拠点の充実を図るため、契約金額3億3390万円、三成・富士特定建設工事共同企業体と請負契約を締結するものです。
工期は、本契約締結の日から360日間とするものです。
契約方法は、一般競争入札に付したものです。

**栄小学校校舎等
改築工事(建築工事)
請負契約の締結**
小学校及び児童クラブを合わせ持つ学校教育施設を整備することにより、児童の健全育成を図るため、契約金額2億550万円、前田・笹沼特定建設工事共同企業体と請負契約を締結

条例

工期は、本契約締結の日から450日間とするものです。
契約方法は、一般競争入札に付したものです。

草加市暴力団排除条例
暴力団の排除に関する基本理念を定め、市、市民及び事業者が協力することで暴力団の排除を推進するものです。
施行期日は、平成24年10月1日。

草加市防災会議条例等の一部を改正する条例
災害対策基本法の一部改正に伴い、草加市防災会議の構成員及び市の災害対策に市域を越える被災住民の受け入れや被災地への物資または資材の供給を新たに加えるとともに、条文の所要の整備を行うものです。
施行期日は、改正後の防災会議の構成員の追加並びに定数の変更が平成25年4月1日。その他が公布の日。

市長提出議案の概要は
次ページ上段へ続きます。

議長に小澤敏明議員 副議長に秋山由紀子議員 監査委員に浅井昌志議員

10月26日に開かれた第2回臨時会において、議長に小澤敏明議員(72歳、草加新政)、副議長に秋山由紀子議員(61歳、公明党)を選出しました。
監査委員については、浅井昌志議員(52歳、草加新政)の選任に同意しました。

議長 小澤 敏明



《主な経歴》
市議会議員4期
監査委員
平成15年12月～16年12月
総務文教委員会委員長
平成14年11月～15年12月

副議長 秋山由紀子



《主な経歴》
市議会議員2期
建設環境委員会委員長
平成22年10月～24年10月
総務文教委員会副委員長
平成18年11月～20年12月

監査委員 浅井 昌志



《主な経歴》
市議会議員3期
副議長
平成21年12月～22年9月
一般会計決算特別委員会
委員長
平成23年9月

決算

平成23年度草加市 一般会計歳入歳出決算

予算現額669億1297万651円に対し、歳入合計は672億3215万7895円で収入率100・5%、歳出合計は625億2601万4818円で執行率93・4%です。

平成23年度 草加市立病院事業決算

経営の状況は、事業収益92億5896万4151円に対し、事業費用93億2378万2186円となり、消費税抜き当年度純損失は7425万3121円となりました。

また、資本的収入27億2480万6000円に対し、資本的支出は31億263万7315円となりました。

予算

平成24年度草加市 一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の補正は、既定の予算総額に37億6378万4000円を追加し、予算の総額を718億4858万6000円とするものです。

歳入は主に、地方交付税、県支出金及び繰越金の追加を行い、国庫支出金及び繰入金の減額を行うものです。

歳出は主に、財務運営事業費、財政調整基金積立金、新田駅東口地区市街地整備事業費及び緑化推進事業費の追加を行い、国民健康保険特別会計繰出

金、介護保険特別会計繰出金及び公共下水道事業特別会計繰出金の減額を行うものです。

債務負担行為の補正は、放課後児童健全育成事業の設定を行うものです。

地方債の補正は、水辺環境整備事業債、公園整備事業債及び消防施設等整備事業債の廃止を行い、今様・草加宿公園整備事業債及び臨時財政対策債の限度額の変更を行うものです。

人事

固定資産評価審査委員会委員の選任

大久保 啓介氏

平成24年9月30日をもって任期満了となる委員の後任として新たに大久保啓介氏を選任することに同意を求めたものです。

教育委員会委員の任命

村田悦一氏
加藤由美氏

平成24年9月30日をもって任期満了となる村田悦一氏を引き続き委員に、平成24年9月30日をもって任期満了となる委員の後任として新たに加藤由美氏を選任することに同意を求めたものです。

人権擁護委員の推薦

松本容子氏
久恒三平氏

平成24年12月31日をもって任期満了となる松本容子氏を引き続き委員に、平成24年12月31日をもって任期満了となる委員の後任として新たに久恒三平氏を推薦することに意見を求めるものです。

臨時会の開催

議長に小澤敏明議員 副議長に秋山由紀子議員

第2回臨時会が10月26日に開かれ、正・副議長の辞職に伴い行われた選挙で議長に小澤敏明議員(72歳、草加新政)、副議長に秋山由紀子議員(61歳、公明党)が選出されました。

今回の議会人事は、宇佐美正隆前議長、鈴木由和前副議長及び飯田弘之前審査委員から、辞職したい旨の意向が示されたことによるものです。

正・副議長については、投票による選挙が行われました。選挙結果は次のとおりです。

〈議長選挙〉

投票総数29票、有効投票29票

有効投票中、
小澤 敏 明 議員 29票

〈副議長選挙〉

投票総数29票、有効投票29票

有効投票中、
秋 山 由紀子 議員 29票

監査委員

浅井昌志議員の選任に同意

監査委員については、賛成全員により、浅井昌志議員(52歳、草加新政)の選任に同意しました。

各常任委員会委員及び 議会運営委員会委員の選任

委員の任期満了に伴い、各委員会委員の選任が行われました。

各委員会の新しい委員の構成は次のとおりです。

総務文教委員会



- 委員長 石村次郎
- 副委員長 中野徹
- 委員 佐藤憲和
- 委員 齊藤雄二
- 委員 中野修
- 委員 秋山野由紀子
- 委員 東山由由子
- 委員 新井亜由子
- 委員 飯塚貞夫
- 委員 佐藤恭代

〈所管事務〉

- 一般会計予算のうち歳入に関する事項
- 市長室、総合政策部、総務部、自治文化部、消防本部、教育委員会等の所管に関する事項
- 他の委員会に属さない事項

福祉子ども委員会



- 委員長 佐々木洋一
- 副委員長 井手大喜
- 委員 須藤哲也
- 委員 西沢可祝
- 委員 切敷光雄
- 委員 鈴木由和
- 委員 浅井昌志
- 委員 松井優美子
- 委員 大野ミヨ子
- 委員 小澤敏明

〈所管事務〉

- 健康福祉部及び子ども未来部の所管に関する事項
- 市立病院の所管に関する事項

建設環境委員会



- 委員長 関典幸
- 副委員長 今村厚子
- 委員 平野利八
- 委員 小川哲夫
- 委員 吉沢正隆
- 委員 宇佐美和敏
- 委員 大久保和敏
- 委員 飯田弘之
- 委員 瀬戸健一郎
- 委員 中山康

〈所管事務〉

- 市民生活部、都市整備部及び建設部の所管に関する事項
- 水道部の所管に関する事項

議会運営委員会



- 委員長 瀬戸健一郎
- 副委員長 中野雄二
- 委員 齊藤哲也
- 委員 須藤洋一
- 委員 佐々木由和
- 委員 鈴木由和
- 委員 東山由由子
- 委員 大野ミヨ子
- 委員 飯塚恭代
- 委員 飯田弘之

〈所管事務〉

- 議会の運営に関する事項
- 議会の会議規則、委員会条例等に関する事項
- 議長の諮問に関する事項

議員提出議案

議員提出議案は6議案が提出され、5議案を可決、1議案を否決しました。可決した意見書は関係行政庁へ送付しました。

■地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

地球温暖化防止のための温室効果ガスの削減は、我が国のみならず地球規模の重要かつ喫緊の課題となっている。

よって政府においては、二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「地球温暖化対策のための税」の一定割合を森林面積に応じて譲与する「地方財源を確保・充実する仕組み」を早急に構築することを求めるものである。

■自治体における防災・減災のための財政支援を求める意見書

地方自治体が所有・管理する社会資本（道路橋りょう、上下水道等）の整備は、高度経済成長期の発展とともに加速化した背景があり、現在多くの社会資本が改築期を迎えている。

よって政府においては、橋りょう等の道路施設の長寿命化に資する耐震化や維持補修及び架け替え、老朽化した上下水道等の更新や維持補修並びに防災拠点となる庁舎等の耐震化等による防災機能強化について、補助採択基準の緩和や補助率の引き

上げ、交付対象事業の範囲拡大等の財政支援の拡充を行うなど、地方自治体共通の課題である社会資本の経年劣化対策等の防災・減災のための事業について、重点的な予算配分を行い、地方負担額の軽減措置を講ずるよう強く求めるものである。

■「脱法ドラッグ」とりわけ「脱法ハーブ」に対する早急な規制強化等を求める意見書

近年、いわゆる脱法ハーブが出回ってきた。

脱法ハーブは覚せい剤や麻薬等の乱用への入り口になることが危惧されており、こうした状況を放置することは看過できない。今後、早急な規制強化が急務の課題である。

よって政府においては、次の事項について早急に対応するよう、強く要望するものである。

- ①成分構造が類似していれば一括して薬事法の指定薬物として規制対象にできる包括指定を早急に導入すること
- ②指定薬物が麻薬取締官による取り締まりの対象外であること
- ③指定薬物の発見した場に収去ができるなど法整備の強化を図ること
- ④特に青少年や若者の乱用を防ぐため、薬物教育の徹底を含む未然防止策の強化を図ること

■中小企業の成長支援策の拡充を求める意見書

中小企業は、地域の経済や雇用のかなめとして非常に大きな役割を果たしている。

よって政府においては、中小企業の重要な役割を踏まえ、事業環境の改善や経営力の強化

等、中小企業の成長に資する施策の充実を図るよう、次の点について、その実現を強く求めるものである。

- ①地域の中小企業に雇用や仕事を生み出し、内需を創出する活性化策として、老朽化した社会インフラの修繕・補強など、必要な公共事業に対し、一定期間、集中的な投資を行うこと
- ②中小企業の新たな投資を促進し、雇用の維持・創出に資する国内立地推進事業費補助金をさらに拡充すること
- ③電力の安定的な供給体制の構築を目指し、自家発電設備、省エネルギー機器、デマンド監視装置等の導入、LED等高効率照明の買いかえ等を促進するための支援措置を拡充すること
- ④中小企業の将来性と事業の継続性を確保するために学生・若者の雇用マッチング事業を地域単位で強化するなど、優秀な若手人材を確保するための対策を講ずること

■埼玉県内での医学部新設を認めるよう求める意見書

埼玉県は人口10万人当たりの医師数が149人と全国最下位の県である。また、埼玉県は高齢化のスピードが全国で最も速い上に、65歳以上の高齢者人口は116万人と全国で6番目に多くなっていることから、必然的に医療必要度が高く、埼玉県が実施した県政世論調査でも、県民の要望の第1位が「高齢者福祉の充実」、第2位が「医療体制の整備」となっており、これらが県民の切実な要望であることがわかる。

こうした状況から、多くの県民が埼玉県立大学に医学部の新設を求めている状況ではあるが、国は医学部新設を認めていない。よって政府においては、住民の命と健康を守る立場から、埼玉県内での医学部の新設を認めるよう求めるものである。

委員会提出議案

◆否決された議案◆
●日本国内の米軍基地へのMV-22オスプレイの配備に反対する意見書

委員会提出議案は1議案が提出され、可決しました。可決した意見書は関係行政庁へ送付しました。

■建設従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を求める意見書

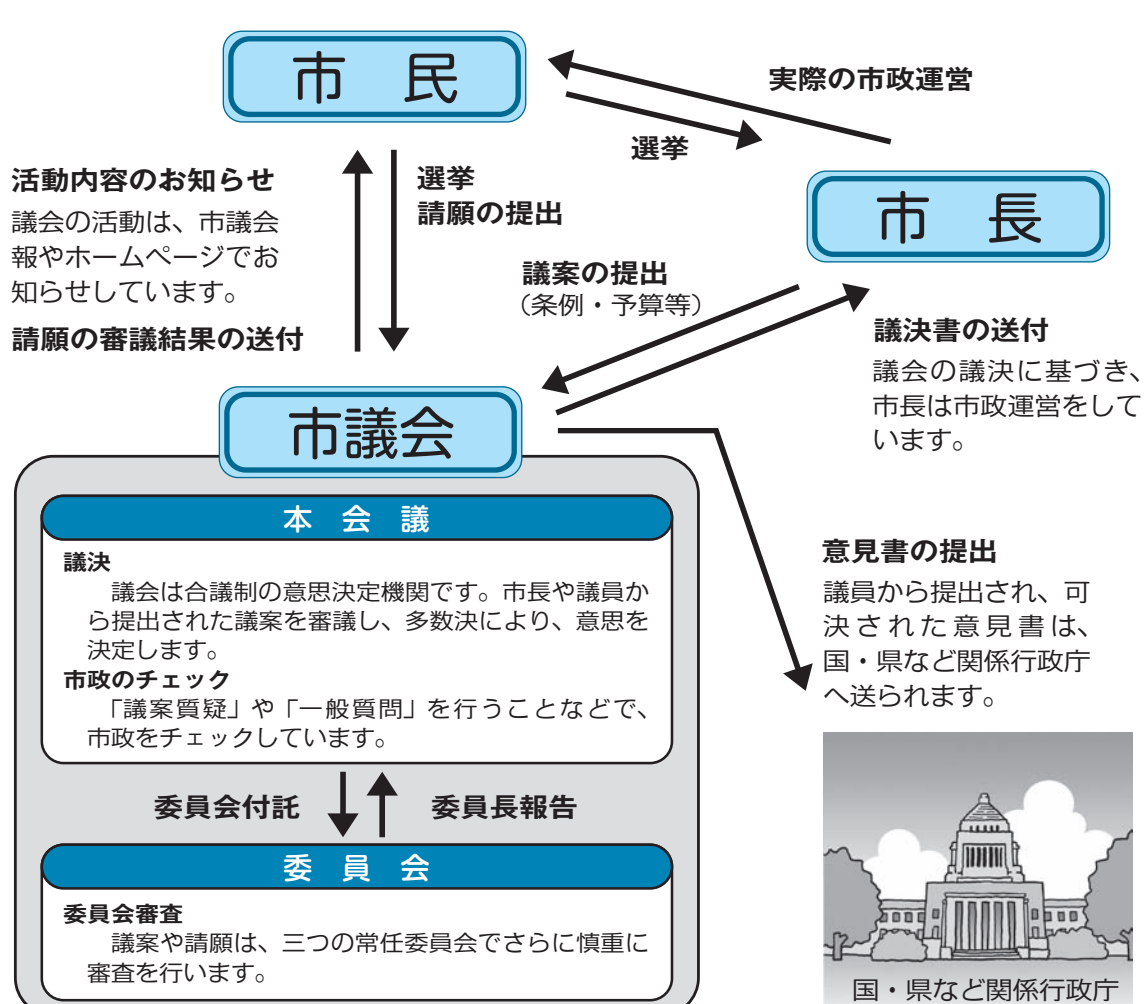
アスベストを大量に使用したことによる被害は多くの労働者、国民に広がっている。

日本では、建設業従業者に最大の被害者が生まれていることが特徴である。それはアスベストのほとんどが建設資材など建設現場で使用され、そして国が、建築基準法などで不燃化、耐火工法として、アスベストの使用を進めたことに大きな原因がある。

よって政府においては、建設従事者のアスベスト被害者と遺族が生活できる救済の実施とアスベスト被害の拡大を防ぐ対策を直ちにとり、アスベスト問題の早期の解決を図るよう要望するものである。

市議会のしくみ

市長と市議会議員は、それぞれ市民が直接選挙で選びます。この仕組みを二元代表制といいます。議会は市長から提案された議案を審議し決定します。また、市政が適正に行われているかをチェックしています。



市議会議員

市議会議員は、4年ごとの選挙によって市民の代表者として選ばれます。市内に住んでいる満25歳以上の選挙権のある人なら、だれでも立候補できます。議員定数は市の条例で定めることになっています。草加市は現在、議員定数を30人と定めています。

草加市の市議会議員定数については、平成24年6月定例会に議員定数を2人減の28人とする議員提出議案が提出され、可決しました。これにより、草加市の市議会議員定数は、次回の選挙（平成26年10月ごろ実施予定）から28人になります。

議長と副議長

議長と副議長は、議員の中から選挙で選ばれます。議長は、草加市議会のリーダーとして、議事の整理、議場の秩序保持をします。また、草加市議会の代表としていろいろな会議に出席し、他の機関と協議するなど、議会を代表する重要な役割を持っています。副議長は、議長が欠けたときや、出張などで不在のときに、議長のかわりを務めます。

会派

同じ政党に所属したり、同じような考え方や意見を持つ議員は、自分たちの考えを効果的に市政に反映させるため、グループをつくって活動しており、このグループを「会派」といいます。



市政に対する一般質問

ここに掲載したものは、すべての質問の中から1人の議員につき1項目を選び、質問、答弁の要旨を記したものです。
(掲載は発言順です)

路上喫煙の規制と駅前灰皿の撤去

〔質問〕齊藤議員 ①施政方針演説では、路上喫煙を規制する条例をつくるということであったが、スケジュールはどうなっているか。②草加駅東口・西口、松原団地駅西口には灰皿が設置されているが、喫煙エリアが定められていないため、たばこを吸わない方は非常に迷惑している。過去の答弁では、条例ができた際に喫煙禁止区域を設けるということであったが、喫煙禁止区域ができた場合、この灰皿をどうするか。



草加駅西口に設置されている灰皿

〔質問〕齊藤議員 ①灰皿が再生産される社会を築いていくため、アスベスト事業を拡大する必要があると思う。①アスベスト教育支援事業の学習教室に通い、高校に進学した子どもは、その後どうなっているか。②県の事業ではなく草加市が事業

中学校の喫煙対策

〔質問〕秋山議員 取手市や越谷市では、夏の暑さ対策として小・中学校にミストシャワーが設置され大変好評とのことである。ミストシャワーは水を霧状にして散布するもので、水道の蛇口と直結して使用する簡易なタイプであれば電気は不要であり、導入コストも安価であることから各地で普及が進んでいる。草加市においても、児童・生徒に対する熱中症対策の一つとして、ぜひ小・中学校に設置していただきたい。試験的な導入も含め、市の考えは。

〔質問〕佐藤議員 中学校の武道必修化が今年度から始まるのを受け、全国的に柔道で重大事故が多発していることに対して、保護者や学校現場から不安の声が上がっている。6月定例会で行った一般質問の中で、市内中学校の事故発生時の対応マニュアルについて幾つかの課題が浮き彫りとなったが、その後の対応は。

〔質問〕飯塚議員 持病のある65歳以上の単身高齢者の方、また高齢者世帯の方を対象に、救急搬送時に消防本部から救急隊に情報提供するシステム、救急ネットがこの4月よりスタートした。障がい者の登録システムは、安全について意識の高揚を図った。小・中学校の暑さ対策ミストシャワーの設置を

学校のいじめ問題 今後の取り組み

〔質問〕石村議員 新聞やテレビでも報道されたが、草加市内の学校で、飛びおりを強要するなどのいじめが発生した。①教育委員会事務局と教育委員、それぞれ役割があると思うが、どのような対応が行われたのか。②以前、ある学校が荒れたとき、学校、PTA、近隣の方々が総力を挙げてこれを解決した。やはり、いじめの問題については、みんなが関心をもち逃げずに取り組むことが必要だと思いませんか。

〔質問〕健康福祉部長 ①平成22年度は2人、平成23年度は12人の中学生3年生が学習教室に参加したが、全員が高校進学し、現在も在学している。このようなどことから事業に一定の成果があるものと認識している。②生活保護の子どもたちが貧困の連鎖に陥らないよう、埼玉県に対し、教育支援事業をより充実していただくよう要望していく。また、草加市の子どもたちに学習教室を積極的に利用いただくには、市内に設置することが急務だが、草加市として独自にできるかどうかについては、調査研究していきたい。

新しい時代にふさわしい旧日光街道のまちづくり

〔質問〕新井議員 旧日光街道という歴史文化や奥の細道という歴史文学などをとらえ、新しい時代にふさわしい旧日光街道のまちづくりをすることが必要ではないか。最近、歴史、文化、文学などの街道文化について市民の関心が高まっており、旧日光街道歴史文化資料センター



草加宿神明庵

市議会を傍聴してみませんか

●傍聴 市議会は、毎年2月、6月、9月及び12月の年4回の定例会と、必要に応じて臨時会が開かれており、市民に直結した議案及び請願の審議に当たっています。市民の皆様が選んだ代表者が、どんな活躍をしているか、ぜひ一度市議会を傍聴してください。

●議会を傍聴される前に

傍聴申込書に住所、氏名と当日の日付を記入の上、キリトリ線から切り取り、記載台に備えつけられている箱に入れてください。残った傍聴券は、お手元にお持ちください。

一般傍聴申込書と一般傍聴券のテンプレート。申込書には住所、氏名、日付を記入する欄がある。傍聴券には市議会のロゴと「傍聴を許可します」とある。

●傍聴上の注意

傍聴する際には次の事項を守って傍聴してください。

注意事項

- 1 議場に入場したら速やかに着席してください。
2 傍聴席では、私語を慎み、次の事項を守ってください。
(1) 拍手などによる意思表示をしないでください。
(2) みだりに席を離れないでください。
(3) はちまき、腕章などをしないでください。
(4) 帽子、コート、マフラーなどを着用しないでください。
(5) 飲食や喫煙をしないでください。
(6) 携帯電話、パソコン等の電源をお切りください。
(7) その他議場の秩序を乱したり、会議の妨害となるようなことをしないでください。
(8) 写真、ビデオ等を撮影したり、録音をしないでください。
3 会議終了後は速やかに退場してください。
4 傍聴される方は、担当者の指示に従ってください。
5 傍聴券は、お帰りの際、議会事務局まで返還してください。

草加市議会ホームページの URL が変わりました。

「お気に入り」に登録されている場合は変更をお願いします。

<http://www.soka-shigikai.jp>

本会議の様子はライブでも録画でもご覧になれます。

主体となることで、草加市独自で生活保護世帯の自立を促すべく、む施策を展開できると思うがどうか。

〔質問〕自治文化部長 草加市などによって市内の商店会は会員数が減り、商店街の街路灯を維持していくのが困難になっている。各地の商店会から、街路灯を維持していくのが負担、万が一解散となったときの撤去費用捻出の見通しが不利など不安の声が寄せられている。商店街の街路灯は、まちの防犯や安全に大きな役割を果たしていることから、何とか維持していただけるよう、市として、省エネ電球への切り替え支援や、撤去費用の援助などの対応を行うべきだと思うがどうか。

〔質問〕平野議員 長引く不況などによって市内の商店会は会員数が減り、商店街の街路灯を維持していくのが困難になっている。各地の商店会から、街路灯を維持していくのが負担、万が一解散となったときの撤去費用捻出の見通しが不利など不安の声が寄せられている。商店街の街路灯は、まちの防犯や安全に大きな役割を果たしていることから、何とか維持していただけるよう、市として、省エネ電球への切り替え支援や、撤去費用の援助などの対応を行うべきだと思うがどうか。

〔質問〕吉沢議員 市立病院に對し、市民から多くの苦情が寄せられている。例えば、医師に



草加市立病院

日は旧盆の日で、まちじゅうの病院が閉まっており市立病院はごった返していた。その患者さんは循環器の医者に診てもらいたいとのことであったが、循環器は無理だといわれた。診察室には糖尿病の入院記録があったことから、糖尿病の診療科の医師が診ましようと思診手術をしたにもかかわらず怒って帰ってしまったもので、この患者さんは急患でもなく、診療拒否といふのは、そもそもそういう概念なのかということをお考えいただきたい。

救急ネット 障がい者の登録システム

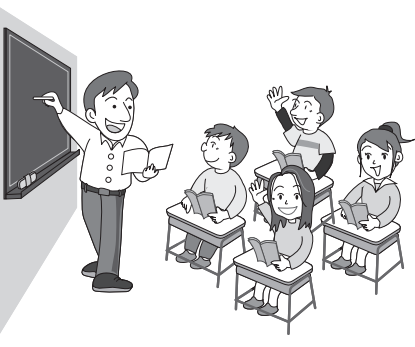
〔質問〕飯塚議員 持病のある65歳以上の単身高齢者の方、また高齢者世帯の方を対象に、救急搬送時に消防本部から救急隊に情報提供するシステム、救急ネットがこの4月よりスタートした。障がい者の登録システムは、安全について意識の高揚を図った。小・中学校の暑さ対策ミストシャワーの設置を

〔質問〕西沢議員 あおば学園は市内で唯一の知的障がい児の通園施設であり、今年度少くとも月1回程度、土曜日に授業を行う公立小・中学校が急増したとのことだが、その割合は。②土曜授業を導入することで、全体の授業時間が多くなれば、基礎基本を丁寧に学ぶ時間の確保ができると思うが、導入についての考えは。

〔質問〕教育総務部長 ①月1回以上の土曜授業を行っている東京都の自治体は27区市町で全体の43.6%である。②教育長 ②授業時数を確保する点で効果は期待できるが、さまざまな課題もあると考えている。全国学力・学習状況調査等をもとに、学力向上に向けた指導の改善や充実を努めていく中で、学校、保護者、社会教育団体などから幅広く意見を聞くなどして、土曜授業について検討していきたい。

7カ所目の特別養護老人ホーム 設置に向けた取り組み

〔質問〕大野議員 市内には5カ所の特別養護老人ホームがあるが待機者は480人おり、平成26年4月に6カ所目がオープンしても、待機者を解消できる見通しはない。①平成27年から平成29年までの第6期介護保険事業計画に市内7カ所目の特別養護老人ホームの建設を入れる場合、県との協議はいつごろ開始しなければならないのか。②特養は利用料も手ごろで多くの方が入れる施設であり、7カ所目を何としても設置していただきたいと思うがどうか。



特別養護老人ホーム

〔質問〕健康福祉部長 ①県との協議には通常3〜4年かかることから、平成25年度、遅くとも平成26年度には協議を開始することになると考えている。②特別養護老人ホームについては、待機者の状況や今後の高齢者人口の増加及び介護認定者数の増加を見据えながら整備を数回に分けて進めたいと考えているが、介護保険料の増加などの影響もあることから、埼玉県と相談する中で、よりよい整備となるようにしていきたい。

あおば学園 定員の増員と 臨床心理士の配置

〔質問〕西沢議員 あおば学園は市内で唯一の知的障がい児の通園施設であり、今年度少くとも月1回程度、土曜日に授業を行う公立小・中学校が急増したとのことだが、その割合は。②土曜授業を導入することで、全体の授業時間が多くなれば、基礎基本を丁寧に学ぶ時間の確保ができると思うが、導入についての考えは。

〔質問〕東園議員 公立小・中学校における学力向上の取り組みにおいて、それほどの成果が上がっていないのであれば、授業時間が足りないことも要因の一つとして考えられるのではないかと。①東京都では、今年度少くとも月1回程度、土曜日に授業を行う公立小・中学校が急増したとのことだが、その割合は。②土曜授業を導入することで、全体の授業時間が多くなれば、基礎基本を丁寧に学ぶ時間の確保ができると思うが、導入についての考えは。

〔質問〕東園議員 公立小・中学校における学力向上の取り組みにおいて、それほどの成果が上がっていないのであれば、授業時間が足りないことも要因の一つとして考えられるのではないかと。①東京都では、今年度少くとも月1回程度、土曜日に授業を行う公立小・中学校が急増したとのことだが、その割合は。②土曜授業を導入することで、全体の授業時間が多くなれば、基礎基本を丁寧に学ぶ時間の確保ができると思うが、導入についての考えは。

小・中学校において 学力向上を図るための 土曜授業の導入

〔質問〕東園議員 公立小・中学校における学力向上の取り組みにおいて、それほどの成果が上がっていないのであれば、授業時間が足りないことも要因の一つとして考えられるのではないかと。①東京都では、今年度少くとも月1回程度、土曜日に授業を行う公立小・中学校が急増したとのことだが、その割合は。②土曜授業を導入することで、全体の授業時間が多くなれば、基礎基本を丁寧に学ぶ時間の確保ができると思うが、導入についての考えは。

〔質問〕東園議員 公立小・中学校における学力向上の取り組みにおいて、それほどの成果が上がっていないのであれば、授業時間が足りないことも要因の一つとして考えられるのではないかと。①東京都では、今年度少くとも月1回程度、土曜日に授業を行う公立小・中学校が急増したとのことだが、その割合は。②土曜授業を導入することで、全体の授業時間が多くなれば、基礎基本を丁寧に学ぶ時間の確保ができると思うが、導入についての考えは。

〔質問〕東園議員 公立小・中学校における学力向上の取り組みにおいて、それほどの成果が上がっていないのであれば、授業時間が足りないことも要因の一つとして考えられるのではないかと。①東京都では、今年度少くとも月1回程度、土曜日に授業を行う公立小・中学校が急増したとのことだが、その割合は。②土曜授業を導入することで、全体の授業時間が多くなれば、基礎基本を丁寧に学ぶ時間の確保ができると思うが、導入についての考えは。

平和の心をはぐくむため 柿の木プロジェクトの 取り組み

〔質問〕佐々木議員 長崎において原爆の惨禍を生きた1本の柿の木があり、この木を治療し回復させた樹木医の海老沼正幸さんが、この被爆柿の木二世の苗木を子どもたちに平和のシンボルとして配る活動を開始した。これを知った現代アーティストの宮島達男さんはアートを軸にした展開を考え「時の蘇生」柿の木プロジェクトを立ち上げた。このプロジェクトでは、被爆柿の木二世の苗木を受け入れ、子どもたち、地域の団体とともに育てる里親を求め、これまでに22カ国、198地点で取り組みを進めている。この取り組みが平和の心、希望の心、勇気の心をはぐくむ取り組みになると思う。草加市も新たな取り組みとして柿の木プロジェクトに取り組みませんか。

〔質問〕佐々木議員 長崎において原爆の惨禍を生きた1本の柿の木があり、この木を治療し回復させた樹木医の海老沼正幸さんが、この被爆柿の木二世の苗木を子どもたちに平和のシンボルとして配る活動を開始した。これを知った現代アーティストの宮島達男さんはアートを軸にした展開を考え「時の蘇生」柿の木プロジェクトを立ち上げた。このプロジェクトでは、被爆柿の木二世の苗木を受け入れ、子どもたち、地域の団体とともに育てる里親を求め、これまでに22カ国、198地点で取り組みを進めている。この取り組みが平和の心、希望の心、勇気の心をはぐくむ取り組みになると思う。草加市も新たな取り組みとして柿の木プロジェクトに取り組みませんか。

〔質問〕佐々木議員 長崎において原爆の惨禍を生きた1本の柿の木があり、この木を治療し回復させた樹木医の海老沼正幸さんが、この被爆柿の木二世の苗木を子どもたちに平和のシンボルとして配る活動を開始した。これを知った現代アーティストの宮島達男さんはアートを軸にした展開を考え「時の蘇生」柿の木プロジェクトを立ち上げた。このプロジェクトでは、被爆柿の木二世の苗木を受け入れ、子どもたち、地域の団体とともに育てる里親を求め、これまでに22カ国、198地点で取り組みを進めている。この取り組みが平和の心、希望の心、勇気の心をはぐくむ取り組みになると思う。草加市も新たな取り組みとして柿の木プロジェクトに取り組みませんか。

あおば学園の画像



あおば学園

決算特別委員会の審査概要

8月30日の本会議において、13人の委員で構成する一般会計決算特別委員会が設置されました。一般会計の決算審査は広範囲に及ぶため、特別委員会を設置し、詳細に審査したものです。決算審査は、9月3日から9月6日までの4日間で行われ、委員会では賛成全員により平成23年度草加市一般会計歳入歳出決算を認定しました。以下は委員会における質疑及び答弁の概要をまとめたものです。

歳入

個人市民税及び法人市民税の不納欠損額

【質疑】個人市民税及び法人市民税のそれぞれの不納欠損額と対前年度比は。

【答弁】個人市民税の不納欠損額は2億5778万8728円で9866万1572円の増、法人市民税の不納欠損額は838万7467円で153万8818円の減。

決算特別委員会の構成は、次のとおりです。

切敷光雄	委員長
井手大喜	副委員長
須藤哲也	委員
中野徹	委員
今村典子	委員
平野厚子	委員
佐々木洋一	委員
西沢可志	委員
浅井昌志	委員
小川利八	委員
吉沢哲夫	委員
新井貞夫	委員
中山康	委員

(委員は議席番号順)

歳出

職員1人当たりが抱える人口

【質疑】県平均と比較した職員1人当たりが抱える人口及び県内での順位は。

【答弁】平成23年4月1日現在、病院、消防及び水道部を除いた草加市の職員数は1043人であり、職員1人当たりの人口は、県平均の174人に対し、草加市は229人で県内40市中一番多い。

生活保護のケースワーカー1人当たりの担当世帯数

【質疑】生活保護のケースワーカー1人当たりの担当世帯数と県内での順位は。

【答弁】平成24年3月において、対象となる2352世帯を16人のケースワーカーで対応しているため、1人当たりの担当世帯数は147世帯となり、県内が一番多い。

障がい者の雇用は

【質疑】市の障がい者の雇用率及び法定雇用率は。

【答弁】平成23年6月1日現在、市の雇用率は2.26%で、法定雇用率である2.1%を上回っている。



納税コールセンターの効果

【質疑】草加市納税コールセンター業務委託の効果は。

【答弁】8723件に納付奨励を行い、1億629万5980円の収納があった。



納税コールセンター

市民福祉葬の実施件数

【質疑】市民福祉葬の実施件数と対前年度比は。

【答弁】実施件数は160件で、対前年度比で49件、率で44.1%の増。

ワクチンの接種人数と接種率は

【質疑】市長の公約により、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、子宮頸がんワクチンの無料接種が行われたが、接種人数及び接種率は。

【答弁】ヒブワクチンは、延べ対象者数1万3199人に対し接種人数が9471人で71.8%、小児用肺炎球菌ワクチンは、延べ対象者数1万5274人に対し接種人数が1万1356人で74.3%、子宮頸がんワクチンは、延べ対象者数1万3539人に対し、接種人数が7566人で55.9%。

市内リフォーム補助事業の効果

【質疑】市内リフォーム補助事業の補助実績及び経済効果は。

【答弁】緊急経済対策事業の一

太陽光発電システムの設置補助件数

【質疑】太陽光発電システムに対する設置補助の件数と金額及びその効果は。

【答弁】件数は312件、補助金額は989万2900円の交付を行い、発電能力は1178.62kWとなり、CO₂の削減量は約37万1900kgで、樹齢50年の杉の木を2万6564本植えたのと同じ効果がある計算になる。

農産物放射性物質自主検査費用の請求

【質疑】放射性物質の発生責任は東京電力にあると考えるが、農産物放射性物質自主検査補助金において、検査に要した費用は東京電力に請求したのか。

【答弁】6業者、8検体の放射性物質検査に対する同補助金に

環として、71事業所、459件に対し、2896万5317円を補助し、工事請負額としては3億551万8820円の経済効果があった。

木造住宅無料簡易耐震診断の処理件数

【質疑】木造住宅無料簡易耐震診断の申し込み件数と処理件数の対前年度比は。

【答弁】平成22年度は、申し込み件数、処理件数ともに16件で、平成23年度は、申し込み件数、処理件数ともに112件。

公園広場等夜間警備事業の成果

【質疑】(緊急雇用)公園広場等夜間警備事業を実施した成果は。

【答弁】公園に関する苦情は、たむろ行為や、禁止されている花火に関するものが特に多い

おいては、東京電力に対して市が行った損害賠償請求に盛り込まれている。

新設した民間保育園の定員数と待機児童数

【質疑】新たに設置した民間保育園の定員数と、年度末の待機児童数は。

【答弁】平成23年4月1日に民間の保育園4園と分園1園が新設されたことで定員が315人ふえ、年度末の待機児童数は、就労予定を含め530人となった。

放課後子ども教室参加児童数の変化

【質疑】放課後子ども教室の実施校数及び参加児童数の変化は。

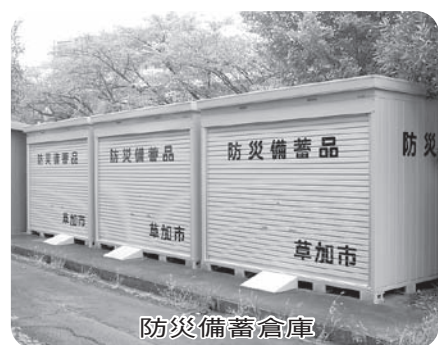
【答弁】平成23年度は新規に2校に開設し、全13校で実施しており、参加児童数は、平成22年

が、これらの苦情件数は、平成23年度は81件で、前年度に比べ89件減少している。

防災備蓄品の備蓄量

【質疑】防災備蓄品の備蓄量は。

【答弁】アルファ化米は、平成22年度が9万5150食、平成23年度が防災クラッカーを含め15万3060食で、目標に対する充足率が83.63%、毛布及び



防災備蓄倉庫

度が延べ3万5876人であったのに対し、平成23年度は延べ4万781人にふえた。



放課後子ども教室

生活保護の不正受給件数

【質疑】生活保護の不正受給件数及び金額は。

【答弁】件数は32件、金額は1575万3390円で、うち返納済額が208万7435円で返納率は13.2%。

いじめ問題への取り組み

【質疑】いじめの問題についてどのように取り組んだのか。

【答弁】教育支援室においては全員が相談体制の充実に向けて懸命に努力した。なお、今後も相談体制のさらなる充実を目指すとともに、相談にたどり着かない悩みや問題については、児童・生徒との距離が最も近い学校や教員が、相談しやすい環境づくりや人間関係の醸成の大切さを再確認し、問題が大きくなる前に、しっかりと受けとめ、解決に導く努力を引き続き行っていきたい。

特別会計決算の審査概要

各常任委員会は、一般質問終了後の9月13日に開催され、9月20日の本会議において、各委員長報告がなされました。以下は各常任委員会における特別会計・企業会計決算の質疑及び答弁の概要をまとめたものです。

平成23年度草加市国民健康保険特別会計歳入歳出決算

【質疑】課税限度額を引き上げたことによる影響額は。

【答弁】課税限度額を68万円から73万円に引き上げたことにより、延べ463世帯、総額693万4千200円の影響があり、1世帯当たりの影響額は3万4千13円。

平成23年度草加市介護保険特別会計歳入歳出決算

【質疑】平成22年度と比較した被保険者数及び人口に対する割合は。

【答弁】平成22年度が4万6630人で人口に対する割合は19.1%、平成23年度が4万8657人で人口に対する割合は19.9%となり、0.8ポイントふえている。

【質疑】介護つき有料老人ホームの整備計画と状況は。

【答弁】平成21年度から平成23年度を計画期間とする第4期草加市介護保険事業計画では3カ所を整備する予定であったが、上位計画である埼玉県の東部圏域の計画に基づいて5カ所整備された。

【質疑】平成22年度に比べて、地域包括支援センター委託料が増額している理由は。

【答弁】地域包括支援センターの業務をより円滑に進めるた

め、要支援1・2の方のケアプラン作成業務にプランナーを専属で配置するとともに、3職種の人件費を1人当たり30万円増額したことから、平成22年度に比べ、1407万円増額した。



地域包括支援センターが入っている福祉施設

平成23年度草加市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

【質疑】保険料改定の内容と影響額は。

【答弁】均等割額が4万2530円から4万3000円に2230円引き下げられ、影響額は3179万4030円、また、所得割の率が7.96%から7.75%に0.21ポイント引き下げられ、影響額は3270万9368円。

【質疑】平成23年度における短期被保険者証及び資格証明書の発行状況は。

【答弁】電話や訪問により生活実態を把握し、分納等の相談を

受け、その情報を的確に広域連合に送る中で、発行はなかつた。

平成23年度草加市立病院事業決算

【質疑】紹介率の経年変化は。

【答弁】平成21年度が31.6%、平成22年度が36%、平成23年度が37.5%。

平成23年度草加市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算

【質疑】歳入の過料約6012万円の内容は。

【答弁】市内に大量の汚水や雑排水を排出している2事業者において、排除汚水量の申告漏れがあったが、地方自治法第236条の消滅時効の規定により5年以上経過した下水道使用料の請求権が消滅し、下水道使用料を収納することができないことから、下水道条例第52条の規定を適用し、相手方に過料処分を科することにより、5年以上経過した下水道使用料相当額を収納した。

【質疑】平成23年度末における下水道未接続世帯数及び下水道未接続世帯への啓発活動は。

【答弁】下水道未接続世帯数は2403世帯であり、また下水道未接続世帯への啓発活動としては職員による戸別訪問を実施した。

平成23年度草加市水道事業決算

【質疑】耐震管の布設延長及び管路の耐震化率は。

【答弁】耐震管の布設延長は5702mで、平成23年度末の管路の耐震化率は33.9%。

市議会は、年に4回行われる定例会のほかに、臨時会や各種の委員会を開催しています。ここでは、平成23年を例に主な活動を紹介します。

市議会の活動 ~1年間の流れ~

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
本会議の開催			← 2月定例会 →	● 臨時会		← 6月定例会 →			← 9月定例会 →	● 臨時会		← 12月定例会 →
委員会の活動など	総務文教委員会／福祉子ども委員会／建設環境委員会 議員定数等議会改革特別委員会 議会運営委員会（2回開催）／各会派代表者会議	議員定数等議会改革特別委員会 予算特別委員会／議会運営委員会（2回開催） 各会派代表者会議	総務文教委員会（2回開催）／福祉子ども委員会（2回開催） 建設環境委員会／議員定数等議会改革特別委員会 予算特別委員会（5回開催） 議会運営委員会（2回開催）／各会派代表者会議（7回開催）	議員定数等議会改革特別委員会（2回開催） 議会運営委員会（2回開催）／各会派代表者会議（2回開催）	各会派代表者会議	総務文教委員会／福祉子ども委員会／建設環境委員会 議員定数等議会改革特別委員会（2回開催） 議会運営委員会（2回開催）／各会派代表者会議（2回開催）	福祉子ども委員会 議員定数等議会改革特別委員会 議会運営委員会／各会派代表者会議（2回開催） 各会派行政視察	福祉子ども委員会 議員定数等議会改革特別委員会 議会運営委員会／各会派代表者会議	福祉子ども委員会 議員定数等議会改革特別委員会（2回開催） 建設環境委員会／決算特別委員会（5回開催） 議会運営委員会（5回開催）／各会派代表者会議	総務文教委員会／福祉子ども委員会／建設環境委員会 議員定数等議会改革特別委員会（2回開催） 議会運営委員会（4回開催）／各会派代表者会議（2回開催） 各会派行政視察	常任委員会視察（総務文教・福祉子ども・建設環境） 総務文教委員会／福祉子ども委員会／建設環境委員会 議員定数等議会改革特別委員会 議会運営委員会／各会派代表者会議（2回開催）	総務文教委員会／福祉子ども委員会／建設環境委員会 議員定数等議会改革特別委員会 議会運営委員会（2回開催）／各会派代表者会議

◎市の重要な決まりである「条例」や市の「予算」は、本会議の議決を得て決定します。

本会議は、全議員が参加し議場で行われる会議で、年に4回行われる「定例会」と緊急事項を審議するために行われる「臨時会」があります。議案などの議決事項（条例の改正、予算の決定など）は、最終的には本会議の議決（議会の意思決定）を得て決定します。

◎「本会議」で決定する前に、「委員会」で詳しく調査や審査を行います。

委員会は、議案を合理的かつ能率的に調査、審査するために行われるもので、草加市では「総務文教」「福祉子ども」「建設環境」の3委員会があり、各々10人の議員で構成されています。これらを「常任委員会」といいます。このほか、特に重要な案件や調査のために「特別委員会」が設けられます。平成23年は「予算特別委員会」「決算特別委員会」「議員定数等議会改革特別委員会」が開催されました。

「議会運営委員会」は議会の運営方法等を定めるための委員会です。

◎「予算」は2月に、「決算」は9月に審議し、それぞれ決定、認定します。

市の各種事業の内容は市長が決定し、市の職員が運営や各種作業を行います。そのための予算は議会が定めます。翌年度の予算は2月定例会の「予算特別委員会」で審査し、本会議で決定します。前年度の決算は9月定例会の「決算特別委員会」で審査し、本会議で認定します。

◎その他の活動

委員会や会派、あるいは議員個人で先進的な取り組みを行っている自治体等を視察し、そこで得られた知見を草加市政に生かしています。その他、地域の諸問題の把握、市民からの相談の対応、各種行事への参加など日常的にさまざまな活動を行っています。

審議結果一覧

○:賛成 X:反対 除:除斥 欠:欠席

Table with columns for '議案番号/議案名', '会派構成/議員名', and '議決結果'. It lists various council proposals and their voting outcomes across different political parties.

・議長は表決に加わりません。・表中の「※委」は「委員会提出議案」の略です。・表中の「※市」は、「市長提出議案」の略です。・第87号議案は監査委員の選任に関する議案であり、当事者である議員は表決に加わりません。(除斥)

Information regarding the 9th Ordinary Council Meeting (9月定例会) and the 2nd Special Council Meeting (平成24年第2回臨時会). It lists members who have submitted requests for reconsideration (請願) and those who have been re-examined (継続審査となった請願).

次の定例会は12月6日(木)からの予定です
問い合わせは議会事務局議事課まで ☎048(922)2458

政治家のお歳暮や年賀状などは禁止されています
1 政治家の寄付の禁止
2 政治家に対する寄付の勧誘・要求の禁止
3 後援団体の寄付の禁止
4 年賀状等のあいさつ状の禁止
5 あいさつを目的とする有料広告の禁止